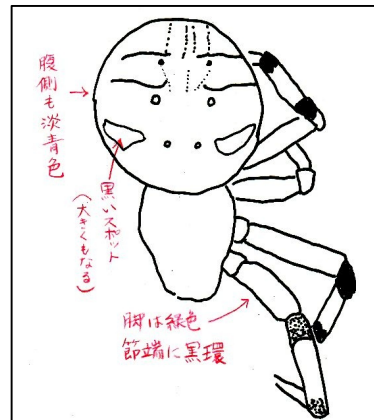


season: size: life type:

春 . . . ● ● Medium キレ網

アオオニグモ/青鬼蛛/Araneus pentagrammicus/コガネグモ科

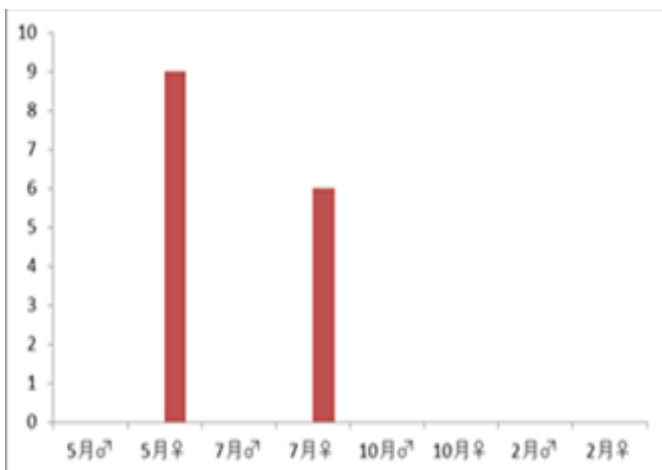


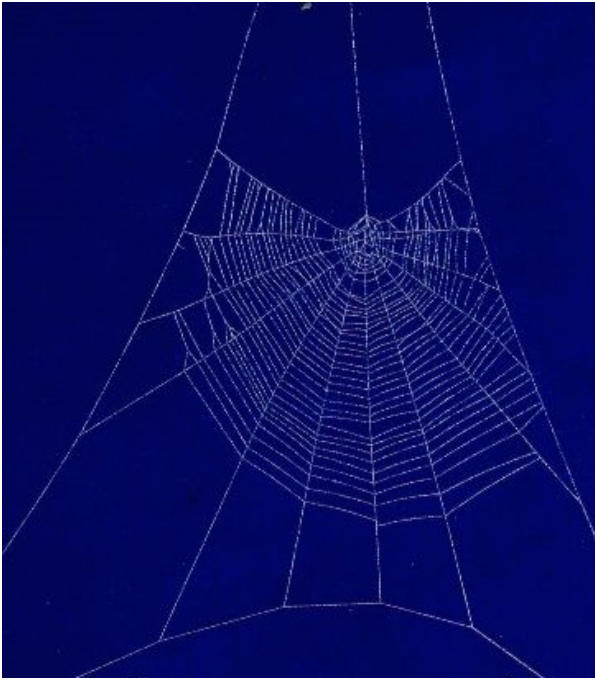
このサンプルはデザイナーによるデザインを真似ています

【観察ポイント】ビジョオニグモに似るが腹側面も青いところが異なるし、キザハシオニグモ同様、アオオニグモの成熟期は春である。平地から山地まで広く生息しており、丹沢では標高 700m 以上の山地帯にも生息していた。

【習性】庭の樹枝間にキレ網（網直径 20cm，縦糸 13～20・横糸 14～28）を張る。呼糸（受信糸）の先の葉裏に住居（リトリート）を作って潜み、虫がかかると飛び出して来る。繁殖習性は記録がない。狩蜂に襲撃される。 < ♀ ♂ 写真：森田 >

【トピック】体色が淡い青緑色の中形のオニグモ。腹背に「5本のギpenta」「線があるギgrammikos」という意味の種名である。無色透明の網糸は時間がたつと金色に光るようになる。





■ キレ網 切れ網

垂直円網の一部に横糸がなく，網の一部が切れている網をキレ網と呼ぶ。切れている部分から出ている糸の先をたどると葉裏にクモが潜んでいる。網の振動を感じる受信糸を呼糸と呼ぶ。キレ網を張るのはアオオニグモのほか、ビジョオニグモ，ヘリジロオニグモ，ヤマキレアミグモなど。ヘリジロは円網を張った後で網の一部を切り取るが，アオオニやビジョオニは最初から切れる部分で折り返す。 < 網標本：船曳和代 >



ビジョオニグモ *Araneus mitificus*
一見，形態・網型・生態はアオオニグモに似るが，成熟時期は秋（9月）と異なる。産卵期は10～11月，卵越冬し，3～4月に発生開始，3月下旬～5月上旬にふ化。クラッチサイズは100～450卵〔新海栄一〕。卵囊内の発育にバラつきがあり，出囊後，まどいをせず温かい日に分散していく。子グモはキレ網でない円網を張る〔佐藤幸子〕。 < ♀写真：腰高 >



ハツリグモ *Acusilas coccineus*

網はキレ網に似た上側に横糸を欠く形だが，中央に葉を吊り，蜘蛛はその中に潜む。林床の下草の間に造網している。網は縦糸14～20・横糸6～17で，下半分が大きく，横糸は下の方に多い。腹部がずん胴形で体色は黄褐色に茶褐色の縦スジがある。6～7月に雌雄同居し〔植村利夫〕，産卵は7～8月，葉の中に卵囊を1～2個作る〔熊田憲一・山川守〕。出囊は8月で〔中平清〕，62卵〔大利昌久〕。 < ♀写真：腰高 >